

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公開番号】特開2009-178334(P2009-178334A)

【公開日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-19962(P2008-19962)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月28日(2011.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行にかかる制御を行う主制御手段と、

複数の画素に区画形成されたドットマトリクス型の表示画面を有する表示装置と、

前記主制御手段から取得される前記遊技の進行にかかる状態情報に基づいて前記表示画面にて現れる表示演出の内容を決定するとともに、該決定された表示演出の内容に即した駆動信号を前記複数の画素の別にそれぞれ出力することにより前記表示装置についての表示制御を行う副制御手段と、を備え、

前記副制御手段は、

前記表示装置をその前面から覆うように透過性をもって設けられる前面板に対して加圧行為があったとき、該加圧行為のあった位置及び該加圧行為により付与される力の大きさを判断する加圧行為判断手段、及び

前記加圧行為判断手段により前記付与される力の大きさが所定の閾値を超えている旨判断されたとき、前記加圧行為のあった位置に基づいて前記複数の画素をそれら画素の別に正常仮定画素と異常仮定画素とのいずれかに分類する損傷部決定手段を有し、

前記損傷部決定手段により分類された前記正常仮定画素と前記異常仮定画素とのうちの前記異常仮定画素には、前記決定された表示演出の内容と異なる表示態様が現れるようする一方で、前記正常仮定画素に対しては、前記決定された表示演出の内容に即した駆動信号を出力することによって、前記ドットマトリクス型の表示画面の一部分にだけ異常時の表示態様が現れているもとで前記主制御手段による前記遊技の進行にかかる制御が続行可能となるようにした

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記表示装置は、液晶表示装置として設けられてなる

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記表示装置では、図柄による変動表示が行われる

請求項1または2に記載の遊技機。